

共同助成(大分県遊技業協同組合)

## 「子どもの自己肯定感を高める『すみれ学級ハレの日向上プロジェクト』」事業

### 子どもたちにとって居心地のよい場所になるよう 子ども食堂の質的向上をスタッフと目指す

子どもの相対的貧困率が高い日本で、子どもたちを支えるために各地で子ども食堂が運営されている。しかし、それが子どもたちにとって本当に居心地のいい場所なのかどうか、検討する必要がある。大分県で子ども食堂に取り組む団体が、子ども食堂のイベントを盛り上げ、子どもたちが大切にされていると感じてもらえる内容に挑んだ。



大分県内の7ヵ所で子ども食堂を運営する「すみれ学級」



季節の行事、誕生日会等、子ども食堂での「ハレの日」をレベルアップするための事業に取り組んだ

#### 子ども食堂の「ハレの日」のイベントを レベルアップするための共通理解を

「すみれ学級」は、食事の提供、学習支援、居場所づくりの3つを柱として、大分県内の7ヵ所(大分市4ヵ所、別府市2ヵ所、豊後大野市1ヵ所)で子ども食堂を運営する団体で、2019年度には、開催日数1,205日、提供食事数1万4,000食という実績を持つ。

2019年末、同団体の事業担当者が各教室を訪れたところ、教室によっては極めてウェルカムな態度で子どもたちに接するところがあれば、規律優先に終始し、誕生日会でも黙々とケーキを食べさせるだけのところもあり、その落差にショックを受けたという。

子ども食堂が、細々と食事を提供するだけの場ではなく、学校でも家庭でもない、子どもの第3の居場所として居心地の良い場所となってほしいという考えのもと、季節の行事、誕生日会、バーベキューなどのイベントを通じ、様々な背景

を持つ子どもたちが「大切にされている」という思いを持ち、そのことで子どもの自己肯定感が高まるよう、子ども食堂での「ハレの日」をレベルアップするための事業に取り組んだ。また、子どもたちに関わる人の意識が変わらなければ、いくらケーキや食事が立派になったところで、結局、子どもたちの居心地がよくなることはないという考えのもと、教室のスタッフに対する研修として児童心理士による講演を行い、団体として共通理解を深めることにした。

その成果もあり、学級スタッフの中には前向きに取り組んでくれる人も出てきて、小規模な学級でもイベントの日にはたくさん子どもたちが来てくれた。

#### 各教室のオリジナルなもてなしに 子どもたちが大喜びする姿も

結果的に2020年度には、各月末の誕生日会、10月のハロウィンパーティー、12月のクリスマス会、3月のひなまつり

などに合計で延べ962名の子どもたちが参加した。特にハロウィンパーティー、クリスマス会は子どもたちにも、準備するスタッフにも楽しんでもらえたようで、POSCの助成によって各教室にクリスマスツリーを新調することができたため、子どもたちは大喜びで飾り付けして、ツリーの前での写真撮影も盛り上がった。料理の飾り付けが得意なスタッフのいる教室では、ハロウィンのお化けカレーやクリスマスのポテサラツリーなど、可愛らしい料理で子どもたちを喜ばせることができた。

「このようにイベントを制度化するのは初めての試みで、コロナ禍で休校措置があったこともあり、年度の初めは意思統一を図ることが難しかった部分もありました。ですが年度の終盤、ハロウィンやクリスマスの頃になるとスタッフも慣れてきて、各教室でオリジナルのもてなしを考えてくれるようになりました。子どもたちの喜ぶ姿も見ることができ、『ハ

レの日』の質が向上したことは間違いないと考えています。またスタッフに対する研修では、児童心理士の先生にご講演いただきましたが、その際、子どもたちにとって居心地のよい子ども食堂になることを願って研修会を開催したことを各スタッフに伝えることができました。この講演に対するスタッフの反響はとてよく、『自分の指導を振り返るいい機会だった』『スタッフみんなが同じ方向を見て指導するために研修会は重要だと思った』などの声がありました」と、同団体では手応えを感じたという。

#### 大分県遊技業協同組合より

食事を提供するだけの場だけではなく、学校でも家庭でもない、子どもたちの第3の居場所として今後の発展を期待しています。



助成金によって各教室にクリスマスツリーを新調



ハロウィンやクリスマスは多くの子どもたちが訪れた

助成団体:公益財団法人 すみれ学級

<http://sumire-class.jp/>



#### イベントを盛り上げるために積極的に取り組む姿が見られました

一年間いろいろとわからないことにも対応していただき、ありがとうございました。おかげさまで、子ども食堂のハレの日に彩りが感じられるようになりました。各教室のスタッフもやりがいを感じてくれていたようです。新型コロナ感染症対策への使途変更もご快諾いただき、感謝しております。

公益財団法人 すみれ学級  
事務局員 伊良部 桃子さん